

平成25年度予算見積調書

課室名：防犯・交通安全課
 担当名：安全教育・指導担当
 内線：2960

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B56	交通死亡事故ゼロ大作戦事業費		一般会計	総務費	県民費	交通安全対策費	彩の国交通安全県民運動推進事業費	
事業期間	平成20年度～	根拠法令	交通安全対策基本法		戦略項目	12 日本一の共助県づくり		
					分野施策	010402 交通安全対策の推進		
1 事業の概要			5 事業説明					
交通死亡事故に繋がる高齢者と飲酒運転対策に重点的に取り組むことにより、県民全体の交通安全意識の高揚を図り、交通死亡事故ゼロを目指す。 (1) お達者訪問フォローアップ大作戦 945千円 (2) 高齢者交通安全処方箋事業 1,293千円 (3) 長寿社会シルバーリーダー活用制度 1,010千円 (4) さらなる飲酒運転根絶対策 189千円			(1) 事業内容 ア お達者訪問フォローアップ大作戦 945千円 民生委員、交通安全母の会会員が、高齢者世帯を訪問し、交通安全のほか、振り込め詐欺や悪質商法の被害防止について継続して注意喚起する。 イ 高齢者交通安全処方箋事業 1,293千円 薬局において、高齢者に交通安全を呼びかけるとともに、交通事故防止のための啓発資料を配布する。 ウ 長寿社会シルバーリーダー活用制度 1,010千円 交通安全活動に熱意のある元気な高齢者を地域の交通安全リーダーに任命し、県内全域で交通安全活動を行う。 エ さらなる飲酒運転根絶対策 189千円 飲酒運転根絶運動、関係機関と連携した飲酒運転根絶に向けた対策を実施する。 (2) 事業計画 ア お達者訪問フォローアップ大作戦の実施(通年) イ 薬局における高齢者への交通事故防止啓発活動の実施(通年) ウ 長寿社会シルバーリーダーによる交通安全活動の実施(通年) エ さらなる飲酒運転根絶対策の推進(通年) (3) 事業効果 ア 高齢者と飲酒運転根絶対策に重点的に取り組むことにより、交通死亡事故ゼロを目指す。 イ 高齢者世帯訪問の際に交通安全活動のほか、防犯活動や悪徳商法の被害防止活動も行い、一石三鳥を目指す。 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 交通安全母の会、民生委員、防犯・交通安全指導者(シルバーリーダー)や老人クラブ、薬剤師会、酒類を提供する店舗などが加盟する同業組合との連携 (5) その他 変更点 高齢者交通安全処方箋事業を新設(県市企画調整協議会対応)					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)								
3 地方財政措置の状況 なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2.0人=19,000千円								
			財 源 内 訳				一般財源	前年との 対比
予算額								
決定額	3,437						3,437	688
前年額	2,749						2,749	